

【現状と課題】

- ◆ がん、脳血管疾患等の生活習慣病や自殺による死亡率が依然として高く、心と体の健康づくりが不十分
- ◆ 高齢者等の医療ニーズに対応した医療提供体制が未整備であるほか、介護・福祉分野において人手不足が深刻
- ◆ 障害者や認知症等高齢者などへの理解を深める必要

【戦略の目標】（目指す姿）

- 県民一人ひとりが健康寿命を延伸し、生きがいや豊かさを実感しながら暮らせる健康長寿社会を実現
- 全ての人々が地域で活躍し、共に支え合いながら安心して暮らせる地域共生社会を実現

【戦略の視点】

- 健康寿命の延伸に向けて、県民一人ひとりの健康意識を高め、行動変容につなげるための、心と体の健康づくりに向けた取組の強化
- 高齢者等が安心して暮らしていくため、ニーズに対応した医療や、医療・介護・福祉の連携によるサービス提供体制の整備と地域での支え合いの促進

【施策及び数値目標】

施策1 健康寿命日本一への挑戦

《主な数値目標》

■健康寿命

現状(H28実績)男性71.21年 女性74.53年
→ [目標値(H33)] 男性73.21年 女性76.32年

■要介護2以上の者(65歳以上75歳未満)が被保険者に占める割合
現状(H29実績) 2.13% → [目標値(H33)] 1.93% など

施策2 心の健康づくりと自殺予防対策

《主な数値目標》

■自殺による人口10万人当たり死亡率

現状(H28実績) 23.8 → [目標値(H33)] 20.1

■自殺者数(年間)

現状(H28実績) 240人 → [目標値(H33)] 190人以下 など

施策3 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備

《主な数値目標》

■脳血管疾患による人口10万人当たり年齢調整死亡率

現状(H28実績) 37.9 → [目標値(H33)] 30.9

■がんによる人口10万人当たり75歳未満年齢調整死亡率

現状(H28実績) 87.4 → [目標値(H33)] 79.8 など

施策4 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実

《主な数値目標》

■介護施設等の介護職員数

現状(H28実績) 20,891人 → [目標値(H33)] 24,400人

■手話教室を実施する小学校数(年間)

現状(H28実績) -校 → [目標値(H33)] 25校 など

施策5 次代を担う子どもの育成

《主な数値目標》

■里親委託児童数

現状(H28実績) 16人 → [目標値(H33)] 31人

■生活保護世帯の子どもの高校進学率

現状(H28実績) 96.2% → [目標値(H33)] 99.2%

【施策の方向性】

- 健康づくり県民運動の推進
- 食生活改善による健康づくりの推進
- 運動による健康づくりの推進
- 喫煙・受動喫煙・アルコール対策の強化
- 歯科口腔保健の推進
- 特定健診やがん検診の受診率の向上
- 高齢者の健康維持と介護予防の推進

- 普及啓発活動と相談体制の充実
- 心の健康対策の充実
- 地域における取組支援と自殺未遂者支援

- 地域医療を支える人材の育成・確保
- 高齢化に対応した医療提供体制の整備
- がん診療体制の充実と患者支援
- 救急・周産期医療提供体制の強化
- 在宅医療提供体制の整備の促進
- 医療機能の分化・連携の促進

- 地域包括ケアシステムの構築を通じた高齢者等を支え合う地域づくり
- 介護・福祉の人材の育成・確保
- 介護・福祉の基盤整備
- 高齢者の生きがいの推進
- 認知症の人や家族を地域で支える体制の強化
- 障害への理解と障害者の地域生活・社会参加に向けた環境づくり
- ひきこもり状態にある人の社会とのつながりの支援

- 里親委託の推進
- 児童虐待への対応の強化
- 子どもの貧困対策の強化
- 学校との連携による健康・命の教育の推進

【主な取組】

- 「健康寿命日本一」に向け、県民一人ひとりの取組を支援する県民運動の展開
- 新 大学、医療保険者等との連携による医療費・健診データの分析や研究に基づく健康づくりの推進
- 医療保険者、経済団体等との連携による企業における「健康経営」の促進
- 新 ICTを活用した健康情報の発信や健康ポイント制度の導入支援

- 学校との連携による命の教育の充実
- 児童・生徒の自殺予防に向けた「自らを守る力」と「周囲の人の気付き力」の強化
- 新 がん患者、慢性疾患患者等の心のケアの強化
- 県地域自殺対策推進センターを中心とした連携体制の強化による効果的・効率的な自殺対策の推進

- 研修医の確保と定着に向けた初期臨床研修及び専門研修体制の充実
- 新 高齢者に特有の疾患等の予防・治療や医療機器開発の研究推進
- がん診療連携拠点病院等の機能等強化
- 地域救命救急センターの未整備地域の解消に向けた取組の推進
- 情報共有システムの活用による多職種連携の推進

- 新 地域包括ケアシステムにおける推進リーダーの育成
- 新 地域共生社会の実現に向けた住民等による地域活動と包括的な支援体制づくりの促進
- 女性や若い世代への介護・福祉の仕事の理解促進と新規就労の支援
- 新 高齢者等が福祉分野で活躍できる環境づくり
- 職員の処遇改善や育成等に積極的な事業所を県が認証する「介護サービス事業所認証評価制度」の普及促進
- 新 職員の負担軽減に向けた介護ロボット等の導入支援

- 里親の開拓から児童の自立支援までの一貫したサポート体制の構築
- 児童虐待に関わる各機関との連携強化と児童相談所の相談・一時保護機能の強化
- 新 生活保護世帯やひとり親世帯等の高校生、高校中退者等への進学支援

- 食生活や運動習慣の改善に向け、地域で活躍する人材の育成
- 新 たばこによる健康被害防止のための総合的対策の推進
- ねんりんピック秋田大会を契機とした健康・生きがいづくりへの支援
- ロコモティブシンドローム・フレイル予防に向けた啓発や「円熟体操」の普及

- 「心はればれゲートキーパー」の養成による、身近で気付き、見守り、つなぐ体制の強化
- 新 自殺未遂による救急患者に対する医療・保健の連携体制の構築と対応力強化

- 新 高齢者施設等近接型の診療所の整備推進
- 新 急性期脳卒中診療における機能分化・連携のための遠隔画像連携システムの整備
- 患者の負担軽減と医療の効率化に向けたICTを活用した地域医療ネットワークの拡大
- 回復期病床などの不足している機能の充実

- 介護事業所内保育所の運営支援
- 新 世代間交流を通じたシニア世代から若者や子どもたちへの知恵や経験等の伝承
- 認知症医療の中核的な機関である「認知症疾患医療センター」と関係機関との連携体制の強化支援
- 障害への差別や偏見をなくす「こころのバリアフリー」の推進
- 手話教室の開催等による手話・点字等の普及啓発
- ひきこもり相談支援センターを核とした支援の充実

- 地域における支援のつなぎの役割を担う「コーディネーター」の養成
- 子ども食堂やフードバンク等における活動の活性化に向けた支援